



丸山 久子(1909~1986) 1959年頃
ID353 丸山久子文庫 藤沢市文書館



第117号
2025年10月1日
藤沢地名の会

※藤沢地名の会の許可なく、画像の転載・転用および複写することを禁止します。(以下同。)

地名講演会 講演要旨 (2025.5.24)

遠藤の民俗

丸山久子の足跡と仕事

日本民俗学会会員
藤沢市文書館運営委員 桑 智子

はじめに

一九六一年(昭和三十六)、今から六〇年以上も前になりますが、『遠藤民俗聞書(えんどうみんぞくききがき)』という報告書が、藤沢市教育委員会から刊行されました。当時まだ純農村の姿をとどめていた遠藤地区で、古老たちから日々の生業の手順や年中行事、冠婚葬祭の慣わし、唄や民話などを直接聞いて記録したものです。こうした民間の習俗は、ほとんど文字に頼ることなく伝えられてきたもので、生活文化とも言われています。

それまで歴史上に名前が遺らない庶民の暮らしは、あまり顧みられることはありませんでした。藤沢市が民俗学関係の報告書を刊行したのは、この『遠藤民俗聞書』が初めてのこととなります。報告書の調査、執筆、そして編集の中心となったのが、鶴沼海岸に住んでいた丸山久子氏(一九〇九—一九八六、以下敬称略)でした。丸山は、民俗学の創設者である柳田國男(一八七五—一九六二)のもとで学んだ民俗学者です。



『遠藤民俗聞書』刊行の二年後、丸山は藤沢市教育文化研究所現・教育文化センターの研究員となりました。そして、藤沢市内で民具の収集、民話や民俗行事の調査、研究、保護活動などに精力的に取り組みました。研究所での活動はわずか十五年ほどでしたが、その間に藤沢市内のほぼ全域で民俗調査が行われ、大きな成果を遺しました。

一九八六年(昭和六一)に丸山が亡くなった後、蔵書や原稿、調査ノート、写真などは一部を除いて、丸山久子文庫として文書館の寄託資料となりました。

一昨年(二〇二三)の晩秋、藤沢市の文書館で「ムラの祈り—民俗学者・丸山久子が記録した遠藤の歳事」と題した資料展が行われました。会場では、丸山の調査ノートや原稿のほか、遠藤で行われてきた正月や盆などの行事や農作業の様子をとらえた写真が展示されました。それとともに丸山が中心となって収集し、現在

活動報告

《第四十一回総会》

・五月二十四日(土)：参加者23名
 令和六年度事業/決算報告
 年会費値上げ付議
 令和七年度事業/収支計画
 (於藤沢市Fプレイス三〇四会議室)

《第一回地名講演会》

●第二百七十八回例会
 『遠藤の民俗』
 講師：日本民俗学会会員・糸智子氏
 ・五月二十四日(土)：参加者60名
 (於藤沢市Fプレイスホール)

《地名映画会》

●第二百七十六回例会
 ①藤沢の湯立神楽
 ②伝統の里 御所見
 ③グリーンハウス物語
 ④ウイークリー藤沢の歴史・村岡編
 ・二月二十六日(日)：参加者43名
 (於藤沢市総合市民図書館ホール)

《地名探訪》

●第二百七十七回例会
 『江の島道を南下し、片瀬を縦断する』
 ・三月十八日(火)：参加者27名
 ・三月二十一日(金)：参加者41名
 二日間合計68名

●第二百七十九回例会

『トンボ口は現れるでしょうか』
 『弁天橋からぐるり江の島』
 ・六月十日(火)：参加者33名
 ・六月十三日(金)：参加者29名
 二日間合計62名

《ブラさがみ》 ※すべて半日コース

●第四回
 『鎌倉の紅葉獅子舞と古刹瑞泉寺を歩く』
 ・十二月十日(火)：参加者26名
 第五回
 『ハマの山手に異国情緒を求めて』
 ・二月十八日(火)：参加者33名
 第六回
 『シリーズ郷土の偉人を知ろう！』
 『江戸時代の堤・香川村を訪ねる』
 ・四月九日(水)：参加者35名
 第七回
 『別荘族の足跡を辿る鎌倉散歩』
 ・五月十二日(月)参加者37名
 第八回
 『新江ノ島水族館バックヤード見学』
 ・七月十四日(月)：参加者36名

《古文書部会》

『八月を除く毎月第三木曜日』
 『市民活動推進センター(午後)』
 テキストは十一月から『箱根浴湯記』
 七月からは『箱根七湯菜』、25名
 ※八月は有志で『箱根浴湯記』の
 実地探査を箱根湯本周辺で実施

《地誌輪読会》

『一月を除く毎月第一日曜日』
 『湘南台市民センター談話室』
 またはFプレイス会議室
 ・午前 『伊勢太々講道中記』(15名)
 ・午後 『太平年表録』(15名)

《第二十一回地域活動見本市》

藤沢市役所一Fスペースで二月十五日に開催された展示会に三回目の出展。活動紹介と会員の募集を実施し、会員獲得の大きな成果があった。

《湘南台公民館サークル共催事業》

・地誌輪読会で湘南台公民館を利用しての関係で同所から要請され、一月十九日(日)・二十六日(日)の勉強会(成人20名)に講師派遣の協力をした。

受贈書誌

○日本地名研究所
 第四十三回 全国地名研究者
 伊賀大会資料集
 『秘蔵の国伊賀の地名と風土』
 『日本地名研究所通信』
 第百八号
 第百九号
 『地名と風土』
 第十八号

○熊本地名研究会

『熊本乃地名』
 第百七十八号
 第百七十九号
 第百八十号
 第百八十一号
 第百八十二号
 第百八十三号
 第百八十四号
 第百八十五号(PDF)
 第百八十六号(PDF)

○茅ヶ崎郷土会

『郷土ちがさき』
 第百六十二号
 第百六十三号

○鵜沼を語る会

『鵜沼』
 第百二十四号

藤沢地名の会 活動の告知や報告をしています。

●公式ホームページ ●公式 X(旧Twitter)




いいね、フォロー、リポスト
 よろしく願っています。

連絡先